

**安城東部小学校3年生ひらき学習**  
**「なかよくなりたいな おじいさん・おばあさん」**

○「認知症講話」

・6月21日（火） 10:30～12:00

場所：安城東部小学校 体育館

- ・内容 ①紙しばい「ぼくのじいちゃんたこ焼き名人」
- ②認知症とは
- ③脳「記憶のつぼ」
- ④ロールプレイ「認知症の高齢者との接し方」2例
- ⑤まとめ



＜「記憶のつぼ」についての話を聞く様子＞

・結果 子どもたちは、認知症のお年寄りにはうしろからいきなり話しかけてはいけないことや、認知症の人とのかかわり方について学んだ。記憶のつぼについて、教えていただき、認知症という病気について学び、理解することができた。

○「おじいちゃん・おばあちゃん体験」

・6月28日（火） 8:50～12:00

場所：安城東部小学校 体育館

- ・内容 ①お年寄りグッズを身に付ける。
- ②階段の上り下り、水道の蛇口ひねり、景色を見る、トイレに入る、読書をする、箸を使っておはじきをつかむ、お茶を飲む、聞き取りテスト
- ③体験した感想をワークシートにまとめる。

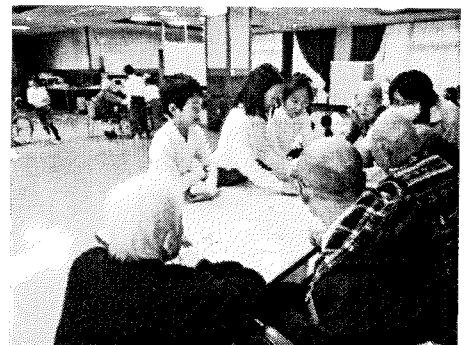


＜高齢者体験をする児童＞

・結果 子どもたちは、おじいさん・おばあさんの動きにくさや大変さを実感することができた。階段の上り下りがこわかった、うまく箸を使うことができなかったという感想が多かった。

その後、この二つの学習を活かして、安寿の郷のお年寄りとの交流を行った。児童は、字を大きく書くことや、ゆっくり大きな声ではっきりと話すこと、返事がないときは何度も言ってあげることをめあてとして、交流を行うことにした。お年寄りが楽しめる遊びを考えるために、お互いに見合っ

てアドバイスをしながら準備をしていった。  
交流会当日は、お年寄りが分かりにくそうなときは、顔を見て何度も話したり、大きな声で話しかけたりしている児童の姿を見ることができた。また手先が不自由なおじいさん、おばあさんも、自分がやれることをがんばったり、楽しんだりしている姿を見て、尊敬の念を抱いた児童もいた。



＜安寿の郷での交流会の様子＞